

<その他：学会賞祝辞>

神奈川大学名誉教授 小林康宏先生の学会賞受賞を祝して

神奈川大学 経済学部 教授 小 山 和 伸

神奈川大学 経済学部 准教授 三 島 齊 紀

神奈川大学 経済学部 准教授 西 村 陽一郎

このたび、神奈川大学 経済学部 小林康宏名誉教授の著書『国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—』（税務経理協会、2016年3月発行）が、日本財務管理学会第43回秋季全国大会にて、第2回学会賞（著書の部）を受賞された。本書は、これまでの約40年に及ぶ研究成果を集大成したものである。また、本書は企業のグローバル化の進展または企業の多国籍企業化の発展を国際経営財務という視点で議論を展開しているのみならず、国際経営財務論の特有の論点である、国際的な規模でのタックスヘイブンを利用した課税回避戦略とそこにおける海外金融子会社の役割を論述した極めて貴重な書籍である。この点について国際財務研究のみならず、経営財務研究の発展に大きく貢献したことが今日評価されたと拝察する。

以下、本学部の教員から本受賞について祝辞を紹介する。

日本財務管理学会において、小林康宏先生のご著書『国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—』（税務経理協会）が見事、学会賞を受賞されました。ご著書は、海外直接投資の動向から多国籍企業の特徴を明らかにし、タックスヘイブンなど最新の研究テーマにも論及されています。ご定年に当たり、ご自身の研究を御まとめになられた先生の研究姿勢に敬意を表します。小林先生、本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

（神奈川大学 経済学部 教授 秋山憲治）

専門外ゆえ、本書の内容に関するコメントはできないが、1号館7階の隣人として言わせて頂ければ、失礼ながら、「驚き」のひとつである。小林先生は、週末を除き、ほぼ毎日出勤されており、研究室にこもっておられた。無為に過ごしていた私と異なり、小林先生は、種々の委員会の長として煩わしい？ 事務作業をこなしながら、このような大著の執筆に勤しんでおられたとは驚きである。種々の仕事を同時かつ完璧にこなされる小林先生は、文字通り、多重処理能力者・天才なのだろう（今頃気づいて申し訳ありません）。願わくは、この大著が、関係学会のバイブルとして、末永く読まれることを期待する。（神奈川大学 経済学部 教授 稲津一芳）

小林康宏先生が学会賞を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。これまで国内流通を研究対象としてきた私にとって、本書を評価することは困難ですが、基礎的な理論からそれぞれの時代の現象や課題までも取り入れて、長年にわたり丹念に研究をされてきた成果であると感じています。私も国際的な流通研究を手掛けてみたいと思っていますので、本書を手元に置き、本書の内容とともに、研究方法や姿勢も学びたいと思っています。

(神奈川大学 経済学部 教授 浦上拓也)

本書の概要については、かつて小林先生から M&M (Management and Marketing) 研究会において、直接御教示を受けたことがあるが、その際には新しい国際化時代における財務問題に対する意欲的な研究姿勢に感銘を受けたものである。この度の受賞は、本書の秀でた内容に対しては勿論のこと、先生の旺盛な研究意欲に対する称賛も込められているに違いない。

(神奈川大学 経済学部 教授 小山和伸)

このたび、小林康宏先生の大書「国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—」(税務経理協会, 2016年3月発行)が、日本財務管理学会の学会賞を受賞されたことに、心からお慶び申し上げます。

日本財務管理学会によると、先生は、多国籍企業の財務に関する研究をもとに、企業の国際的な資金調達と資金運用の動きを中心に研究され、その独創的観点と極めて優秀な研究内容が財務管理研究の発展に大きく貢献されたことを高く評価する、とされています。

先生の40年にわたる長年のご研究が、このような形で結実したことは、われわれ後輩への研究姿勢に対する範を示していただいたものであり、研究の継続への大きな激励をいただいたものと心得ねばと考えております。あらためて小林先生の受賞を心から称えとともに、先生がいつまでもご健康でますますご研究を深化されることを祈念申し上げます。

(神奈川大学 経済学部 教授 学長 兼子良夫)

長きにわたる経済学部へのご貢献、誠にご苦勞様でした。先生の存在によって学部の健全性が保たれ、また経営・マーケティング関連分野も充実しました。貿易学科から現代ビジネス学科への名称変更の際に先頭に立ってご尽力いただいたことは忘れもしません。そして、退職前後に上梓された著書が学会賞を受賞されたことは、正に先生の研究姿勢と先見性を物語るものであり、お祝い申し上げます。

(神奈川大学 経済学部 教授 上沼克徳)

これまで多国籍企業の財務戦略に関して研究を重ねられて、40年に及ぶ研究成果を本書に集約されました。本書の研究が高く評価されて、このたび日本財務管理学会の学会賞を受賞されたことは、誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。われわれが研究を進めていくうえでも、長

年にわたって研究を継続して集大成することの重要性を示していただきました。今後ともさらなる研究の発展を祈念しております。

(神奈川大学 経済学部 教授 齊藤 実)

此度、小林康宏先生の著作『国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—』が、上記学会にて学会賞を授与されたとのこと、心よりお慶び申し上げます。

本書は、これまで長年にわたり、多国籍企業の財務状況に研究の力を置いて調査を続けてこられた小林康宏先生だからこそ成しえた大作に他なりません。なかでも、多国籍企業の資本循環に関する考察だけに留まらず、近年話題となっているスワップ取引のスキームについての涉猟や、最近問題視されているタックスヘイブンによる課税回避までも精査された、非常に貴重な著作であると言えます。

同じ大学に奉職する者として、こうした模範となる長兄を研究仲間として仰いでいられることは、大変幸運なことだと感じております。小林先生の今後ますますのご活躍を祈念致しております。

(神奈川大学 経済学部 准教授 三島斉紀)

日本財務管理学会第2回学会賞の受賞、おめでとうございます。本書は、多国籍企業における国際的な経営財務活動の実態を論じた数少ない貴重な業績であり、その学術的貢献の高さが認められたものと拝察致します。今後ますます多様に複雑化していくことが予想される多国籍企業の財務戦略に関して、さらに一層の研究を重ねていかれることを祈念致します。

(神奈川大学 経済学部 准教授 ハッ橋治郎)

小林康宏先生のご著書『国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—』が学会賞を受賞されたと伺った際には大変嬉しく感じました。「移転価格税制」といった肝要な研究テーマを長年にわたり丹念に涉猟され続けられたことの賜物であると推察いたします。心よりお祝い申し上げますと同時に、ご研究のさらなるご発展を祈念いたします。

(神奈川大学 経済学部 准教授 山本崇雄)

本書は、多国籍企業の財務に関して、資金調達および資金運用、そしてそれにとまなう資金移動を丁寧に執筆されており、その独創的観点が極めて優秀な内容であり国際財務研究のみならず、経営財務研究の発展に大きく貢献したことが今日認められたものと拝察します。本受賞について、研究者の1人として心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。小林先生の今後ますますのご活躍を祈念致しております。

(神奈川大学 経済学部 准教授 西村陽一郎)

この度は、小林先生が長きにわたって真摯に取り組まれてきた研究成果が学会賞という形で認められたということで、喜ばしい限りです。多国籍企業が直面してきた国際経営財務上の課題に

ついて、先行研究を丁寧に紹介しながら執筆されている点が評価されたのではないかと拝察します。1人の同僚として心よりお祝い申し上げます。（神奈川大学 経済学部 助教 藤井 誠）